

4月1日のオープンに先

立つて、3月20日に行われた台東区主催の落成記念式典には、東京都医師会会長 鈴木聰男氏をはじめとする多数の来賓のほか、招待客、関係者が列席。平成8年3月に都立台東病院が休止して以来、住民にとって悲願であった区立病院への大きな期待を込めてくす玉が開かれました。



▲台東区長 吉住 弘氏



社団法人 地域医療振興協会

台東区立台東病院
台東区立老人保健施設 千束

あさがお通信

asagao-tsushin
2009 summer

台東区立台東病院
台東区立老人保健施設 千束
が開設いたしました。



「あさがお通信」
発刊にあたって



この広報誌はわれわれが情報発信する重要なツールですが、ぜひ皆さんのご意見をこの誌面作りにも届けていただきたく存じます。台東病院はわれわれと地域住民の皆さんと一緒に作っていくものと信じています。末永くご支援賜りますようお願いいたします。

病院が住民の皆さんにとつて信頼に値する施設になるかどうかはわれわれの努力にかかるところはもちろんですが、一方で住民の皆さんのファーディバックが方向付けには欠かせません。ぜひ病院に対して屈託のないご意見やご批判をください。それが病院の方向性を決める重要な力になることは間違いないのです。

管理者・病院長
山田 隆司

「あさがお通信」の由来

区立台東病院・老人保健施設 千束のロゴマークは、二つの重なり合う朝顔の花です。朝顔は、皆さまご存知のとおり台東区の花で、重なり合う構図は「患者さまと医師」「患者さまと地域」を表しています。

また朝顔には「愛情」「明日をさわやかに」のほかいくつかの花言葉があります。全職員が気持ちを込めて職務に臨み、患者さまお一人お一人にさわやかな明日を迎えていただけるような、そんな病院でありたいという願いも同時に込められています。

皆さま方にも馴染みの深いこの地域の花の名を冠した「あさがお通信」、今後も末永くご愛読いただけましたら幸甚に存じます。

「あさがお通信」は院内の各部署が編集を担当していきます。

今回は「地域連携相談室」が担当させていただきました!

「地域連携相談室」では医療と介護の垣根を取り外し、円滑な受け渡しが行える院内連携づくりを目指しています。病院・老人保健施設の利用者からの相談や、地域の医療機関・福祉サービスとの連携に加え、地域の方が病気になっても住み慣れた地域で安心して切れ目のないサービスが受けられるように、お手伝いしていきます。



台東病院・老健千束は「社団法人地域医療振興協会」の管理運営施設です。

地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に開設されました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

あさがお通信

発行元：台東区立台東病院・老人保健施設 千束
〒111-0031 東京都台東区千束3丁目20番5号 / TEL 03-3876-1001

シリーズになるといいな…シリーズ



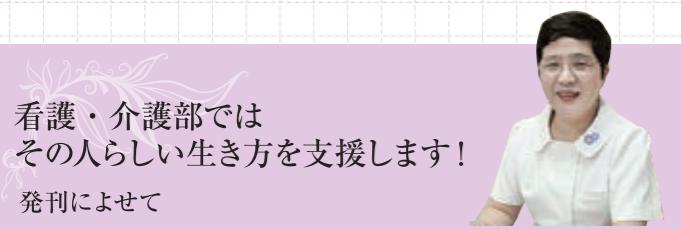
フローレンス・ナイチンゲールの誕生日「ちなみみ」、毎年5月12日が「看護の日」として1990年に日本厚生省により制定されました。世界的にも「国際ナースデー」になっています。
今年は台東区生涯学習センターにて「看護の日イベント」が催され、そこに台東病院・老人保健施設千束の看護職8名でお邪魔して参りました。
当日は健康相談・介護相談ということで広いブースをいただき、多くの方に訪れていただきことができました。特に血圧などの数値を気にされて測定に来られる方が多かつた一方で、「前日に頑張って予習した」介護保険関連の相談が思ったよりも少なく、やや残念だったようなホッとしたような微妙な気持ちで会場を後にしました。
また来年もお声かけいただけますよう、職員一同精進して参ります。

(10)

「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します

台東区立台東病院 台東区立老人保健施設千束

の紹介



発刊によせて

私たち働く者にとっても、期待が高い、台東区立台東病院、老人保健施設千束が開設いたしました。院内のシステムにすべての人が慣れ、スムーズな診療を提供できるのも、あとわずかと思っています。

縁があって、台東病院に勤務させていただきました。

自分も含めて避けては通れない高齢者問題を先駆的に行動することが重要であると認識し、使命感、責任感でいっぱいです。

おかげさまで、施設がオープンし、組織基盤を整備しながら少しづつ利用者さまも増えてきています。通勤途上の朝、歩道脇に咲く花に癒されながら、下町、江戸しぐさを感じています。ここに住む方たちに安心を提供していくことは、何を求められているのか、きっとご近所の病院を安心して利用できることだと思います。安心の2つの文字ですが、具体的に行動レベルに下ろすことは非常に難しいことです。スタッフと力を合わせ努力していくと思います。地域の看護・介護の皆様と共に研修やケーススタディなどができるよいなと思っています。その場所や知識を共有し、医療や介護の現状をまた工夫できる点、相互の立場の理解に努めたいと思っています。どうぞ何なりと要望をおっしゃってください。こちらからも率直にお聞きしたいと思っています。

これからもご支援・ご指導をよろしくお願ひいたします。

看護・介護統括部長 川合 榮子

外来診療予定 受付時間 午前 8:30～11:30
午後 13:30～16:00

総合診療科 内科系 月～金：午前・午後
土：午前

総合診療科 外科系 月・水～土：午前
火：午前・午後

整形外科 月：午前・午後
火～土：午前

皮膚科 月・木：午前

眼科 月・水～金：午前(10:00診療開始)
月・水～金：午後予約再診

耳鼻咽喉科 水・金・土：午前
火・木：午前・午後

泌尿器科 水：午前・午後

※外来診療予定は変更等がありますので、事前にお問い合わせください。



総合診療科

内科系
外科系



台東区立台東病院

診療科・担当医紹介

1

総合診療科（外来）

当院の初診は「総合診療科（内科系・外科系）」の医師が、皆さまの全身の健康問題に幅広く対応します。

総合医というのは、人々が日々の暮らしの中で直面するさまざまな健康上の心配事について、患者さまの視点に立って総合的に問題解決を図ろうという医師の立場を指しています。特定の臓器や疾患にこだわらないところが総合医の特徴といえます。

特に受診する診療科が決まっていない方、どこに受診してよいのかわからない方は、総合診療科にお気兼ねなくご相談ください。

必要な場合は専門診療科への橋渡しをいたします。

必要な場合は専門診療科へ

まずは総合診療科でご相談ください

初めてかかる患者様



総合診療科・外科
杠葉 良



総合診療科・外科
宮本 哲也



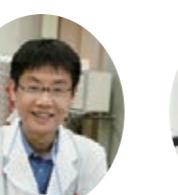
総合診療科・外科
栗原 雄司



総合診療科・内科
今井 康友



総合診療科・内科
太田 雅弘



総合診療科・内科
杉田 義博
山田 隆司



Calendar

台東区立老人保健施設千束

年間行事（予定）

4月 対面式
5月 端午の節句
6月 俳句の会
7月 七夕の会
8月 納涼祭
9月 敬老会

10月 運動会
11月 酉の市
12月 X'mas・忘年会
1月 初詣・新年会
2月 節分
3月 ひな祭り

老人保健施設千束 施設長 奥山亨

区民の皆さんには、今後もより良く安全な生活が送れますように台東区立台東病院と連携を図りつつ、在宅への架け橋になれますように、われわれ一同は日々努力して参りたいと存じます。地域に根付いた医療・福祉を築いていくことはかなりの時間を要することは承知しておりますが、区民の皆さまの拠りどころとなり、共に歩んでいけましたら幸いです。

私自身、以前はリハビリテーション専門医として、来る高齢化社会に向けて障害者における機能・能力回復や自宅復帰支援・在宅生活維持を中心に行っておりました。リハビリテーションだけでは、自宅生活維持は困難を伴うものでしたが、介護保険が導入されてからは、生活の質が向上してきていると思われます。

門医として、来る高齢化社会に向けて障害者における機能・能力回復や自宅復帰支援・在宅生活維持を中心に行っておりました。リハビリテーションだけでは、自宅生活維持は困難を伴うものでしたが、介護保険が導入されてからは、生活の質が向上してきました。

平成19年12月1日、台東区はすべての区民が健康で文化的な生活を送ることができますとを誓い、健康都市とすることを宣言されました。われわれはこの宣言を重く受け止め、「ずっとこのまちで暮らし続けるため」を応援します」をスローガンに掲げ、千束施設長の奥山と申します。



台東区立老人保健施設千束

老健（ろうけん） II 介護老人保健施設とは…

病状が安定期にある介護が必要な方の自立を支援し、自宅への復帰を目指すために、医師による医学的管理下の下、施設サービス計画に基づいた看護・介護およびリハビリテーションや栄養管理・食事・入浴などの日常サービスを提供する施設です。

利用者一人ひとりの状態や目標に合わせたケアサービスを行っていきます。

病院（入院）と自宅との間に位置づけられ、一定期間のリハビリテーションを目的とする機能から、「中間施設」とも呼ばれます。

